

# 公園施設の魅力向上プラン

令和8年5月

大阪市建設局

## ● 目次 ●

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. はじめに.....                  | 1  |
| 1-1 公園施設の魅力向上プランの目的.....      | 1  |
| 1-2 本プランの位置づけ.....            | 1  |
| 1-3 対象とする公園.....              | 2  |
| 2. 本市の公園施設の現状と課題.....         | 2  |
| 2-1 公園施設の現状.....              | 2  |
| (1)公園施設.....                  | 2  |
| (2)市民の利用ニーズ.....              | 7  |
| 2-2 公園施設の魅力向上に向けて.....        | 10 |
| 3. 公園施設の魅力向上プランと基本方針.....     | 11 |
| 4. 方針の実施.....                 | 15 |
| 4-1 魅力的な公園施設の充実.....          | 15 |
| (1)各施設における魅力的な遊具の明確化.....     | 15 |
| (2)ベンチの効果的な設置.....            | 15 |
| (3)トイレ環境の改善.....              | 16 |
| (4)長期的な公園施設への対応と将来的な負担軽減..... | 16 |
| 4-2 取組内容.....                 | 17 |
| 4-3 魅力的な公園施設の導入に向けた効果検証.....  | 18 |
| 4-4 利用者の意見を反映した都市公園の魅力向上..... | 21 |
| 4-5 プランの検証と見直し.....           | 22 |



# 1. はじめに

## 1-1 公園施設の魅力向上プランの目的

大阪市の公園には、現在、約6,000基の公園遊具を設置しています。過去には法定の設置義務※により、ぶらんこ、すべり台、砂場などの遊具を中心に設置してきました。一方で、利用者の安全性確保のため、回転や上がり下がりするといった揺動系遊具や大型遊具の設置は少なく、その結果、遊具構成が画一的になっています。

遊具以外の施設において、トイレは衛生状態面の維持に加え、いたずらや適切でない利用方法による施設の破損を防ぐ観点から、利用者が安心して利用できる環境づくりが課題となっています。また、ベンチについては、公園全体の居心地や利便性を高めるうえで配置等の見直しを検討する余地があります。

こういった点を受け、大阪市では時代とともに多様化する市民ニーズに応え、公園がより魅力的で快適な生活空間となるよう、公園を利用される市民の意見や要望を丁寧に聞き取り「公園施設の魅力向上プラン」を策定し、このプランの要素を取り入れた施設整備を進めていきます。

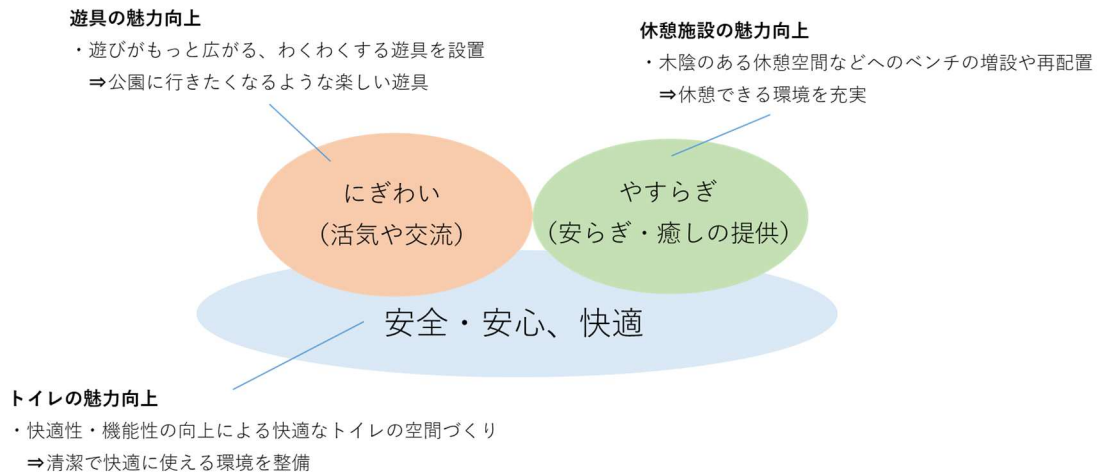
これにより、都市生活の質的向上を目指し、緑あふれる公園を通じて、交流や憩いの場の創出、市民の健康増進、地域コミュニティの活性化を図り、よりいっそうの都市空間の価値向上へとつなげていきます。

※1956年（昭和31年）に制定された「都市公園法施行令」により、当時の児童公園（現・街区公園）に、「ぶらんこ」「すべり台」「砂場」の遊具の設置が義務付けられました。1993年（平成5年）に法律が改正され、3つの遊具の設置義務は廃止となりました。

## 1-2 本プランの位置づけ

都市公園の魅力向上にあたっては、「安全・安心・快適」「機能分担」「環境整備」「にぎわい（活気や交流）」「やすらぎ（安らぎ・癒しの提供）」の各観点が重要となり、このうち「安全・安心・快適」「にぎわい（活気や交流）」「やすらぎ（安らぎ・癒しの提供）」の観点から整備の考え方を今回新たに「公園施設の魅力向上プラン」として位置づけました。これにより、都市公園は、誰もが安全で快適に過ごせる、魅力的な空間として一層の価値が高まることが期待されます。

## ★「公園施設の魅力向上プラン」として位置づけ



### 1-3 対象とする公園

大阪市が管理する都市公園

## 2. 本市の公園施設の現状と課題

### 2-1 公園施設の現状

#### (1)公園施設

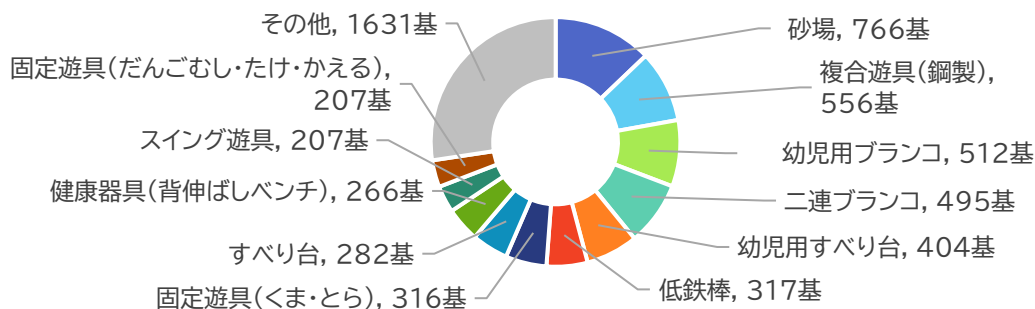
大阪市の公園(プラン策定時:993公園)に設置されている施設の状況を見ると、パーゴラ・シェルターやベンチなどの休養施設、手洗い場・水飲み場などの便益施設は、ほとんどの公園に設置されています。

なかでも遊具については多く、設置数が多いものから、砂場 776 基、複合遊具(鋼製)556 基、幼児用ブランコ 512 基、二連ブランコ 495 基、幼児用すべり台 404 基、低鉄棒 317 基が挙げられ、これらで全体の約半数を占めています。特にぶらんこは幼児用、二連、四連を合計すると 1,074 基となり最も設置数の多い遊具です。また、特徴的な遊具として、クライミングスライダー59 基、石山 94 基があります。全体的にみると、砂場、ぶらんこ、すべり台など定番の遊具が集中して設置されています。



複合遊具の設置も積極的に進めていますが、特徴的な遊具(クライミングスライダー、石山等)をはじめ設置数が限られているため、今後は公園ごとの特色や利用状況に応じて、公園施設の魅力向上に取り組んでいきます。

○遊具の基数と割合



合計  
5,959 基

| 順  | 種類                 | 基数  | 順  | 種類              | 基数    |
|----|--------------------|-----|----|-----------------|-------|
| 1  | 砂場                 | 766 | 26 | クライミングスライダー     | 59    |
| 2  | 複合遊具(鋼製)           | 556 | 27 | 健康器具(懸垂ベンチ)     | 57    |
| 3  | ブランコ幼児用            | 512 | 28 | その他遊具           | 41    |
| 4  | ブランコ二連             | 495 | 29 | 健康器具(平行棒)       | 29    |
| 5  | すべり台幼児用            | 404 | 30 | スプリング遊具         | 21    |
| 6  | 低鉄棒                | 317 | 31 | バスケットゴール        | 19    |
| 7  | 固定遊具(くま・とら)        | 316 | 32 | 肋木鉄棒            | 18    |
| 8  | すべり台               | 282 | 33 | 高鉄棒             | 16    |
| 9  | 健康器具(背伸ばしベンチ)      | 266 | 33 | 木製遊具            | 16    |
| 10 | スイング遊具             | 207 | 33 | 複合遊具(木製)        | 16    |
| 10 | 固定遊具(だんごむし・たけ・かえる) | 207 | 33 | 健康器具(垂直跳び)      | 16    |
| 12 | 飛び石                | 159 | 37 | 健康器具(平均台)       | 14    |
| 13 | ラダー                | 153 | 38 | 健康器具(ジャンピング)    | 13    |
| 14 | 健康器具(腹筋ベンチ)        | 108 | 39 | くぐり輪            | 8     |
| 15 | 健康器具(その他)          | 106 | 39 | 健康器具(腕立て)       | 8     |
| 16 | 固定器具(ワニ・カメ)        | 97  | 41 | 健康器具(足つぼ)       | 6     |
| 17 | 石山                 | 94  | 41 | 健康器具(馬とび)       | 6     |
| 18 | プレイスカルプチャー         | 82  | 43 | 複合遊具(その他)       | 4     |
| 19 | 健康器具(ぶら下り)         | 80  | 43 | 健康器具(ローリングステップ) | 4     |
| 20 | ブランコ四連             | 67  | 45 | 土管トンネル          | 3     |
| 21 | プレイタイヤ             | 64  | 46 | ステップ遊具          | 1     |
| 22 | プレイウォール            | 63  | -  | チェーンネットクライム     | 0     |
| 23 | ジャングルジム            | 62  | -  | シーソー            | 0     |
| 24 | 健康器具(パラレルハンガー)     | 61  | -  | 登り木             | 0     |
| 25 | 健康器具(ストレッチ)        | 60  | 合計 |                 | 5,959 |

## 2. 本市の公園施設の現状と課題

### <一般的な遊具>



ブランコ



すべり台



ジャングルジム



鉄棒



砂場



飛び石



ラダー、うんてい



複合遊具

### <特色のある遊具>



すべり台  
(豊崎西公園)



コンクリート遊具  
(クライミングスライダー)



動物をモチーフにした  
遊具(九条東公園)



複合遊具(八幡屋公園)



すべり台  
(新町中央公園)



造形遊具(東天満公園)



ネットクライミング  
(巽公園)



コンクリート遊具  
(御勝山南公園)



複合遊具(扇町公園)



複合遊具(東高津公園)



複合遊具(大阪城公園)



石山



<健康器具>



背伸ばしベンチ



腹筋ベンチ



懸垂ベンチ



ぶら下がり



ジャンピング



パラレルハンガー



ストレッチ

<ベンチ>



長方形 背有り



長方形 背有り 肘掛付



長方形 背無し



長方形 背無し 肘掛付



縁台



縁台 肘掛付



サークル形



曲線連続



植栽枿



ロング

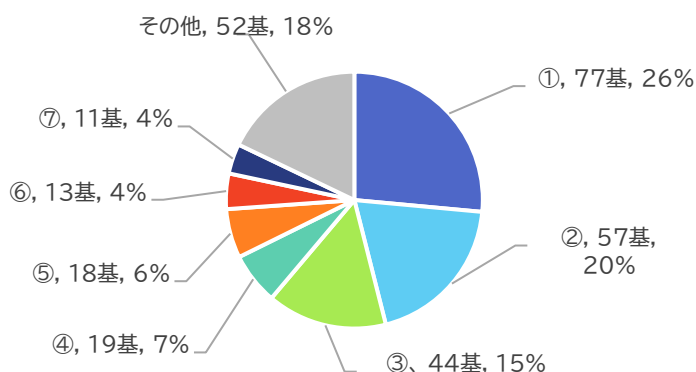
## 2. 本市の公園施設の現状と課題

### <トイレ>



トイレは 290基設置しており、設置している便器等の組み合わせは 28 通りあります。そのうち組み合わせ①が最も多く 77 基(26%)、次いで②が 57 基(20%)、③が 44 基(15%)となっており、この3つで約 60%を占めています。従来はより簡易な③の組み合わせが多く設置されていましたが、利便性および機能向上の観点から順次①②の組み合わせを中心に設置しており、公園利用者の安心や快適性の向上を図っています。

### ○トイレの組み合わせの割合



### ○トイレの組み合わせ

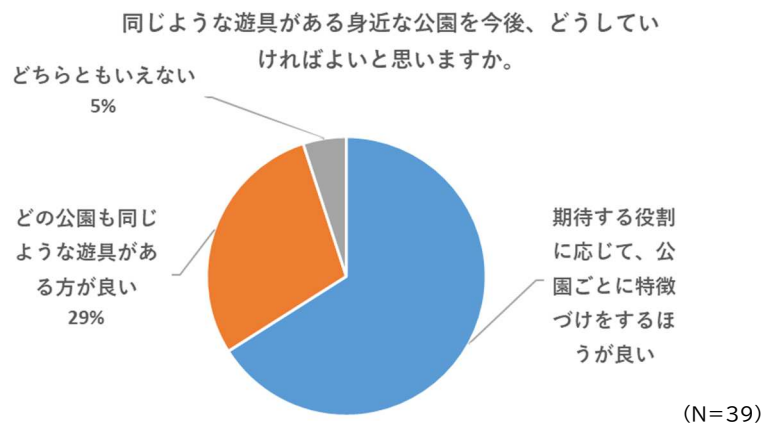
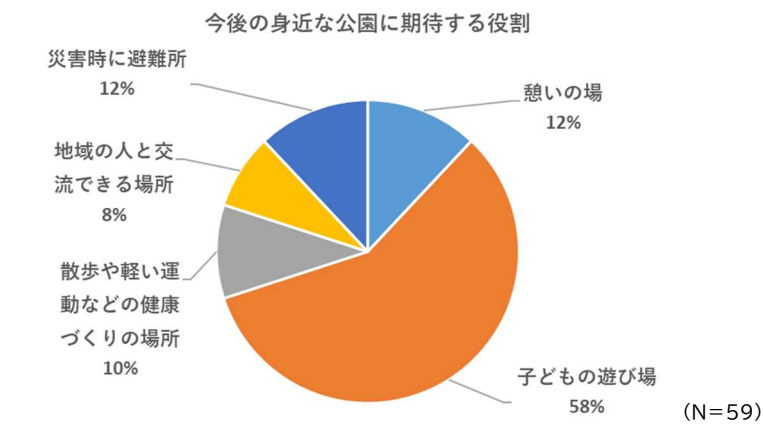
|   | 共大 | 男大 | 男小 | 女 | 身障 | オスト<br>メイト | 幼児 | ベビー<br>シート | ベビー<br>チェア | 数量 |
|---|----|----|----|---|----|------------|----|------------|------------|----|
| ① |    | ●  | ●  | ● | ●  |            |    |            |            | 77 |
| ② |    | ●  | ●  | ● | ●  |            |    | ●          | ●          | 57 |
| ③ | ●  |    | ●  |   |    |            |    |            |            | 44 |
| ④ |    | ●  | ●  | ● | ●  |            |    | ●          |            | 19 |
| ⑤ |    | ●  | ●  | ● | ●  |            |    |            | ●          | 18 |
| ⑥ |    | ●  | ●  | ● | ●  | ●          |    | ●          |            | 13 |
| ⑦ |    | ●  | ●  | ● | ●  |            | ●  |            |            | 11 |




## (2)市民の利用ニーズ

公園の現状や課題を踏まえ、公園利用者や近隣住民を対象とした調査を大阪経済大学と連携して行ったところ、今後の身近な公園に期待する役割については、半数以上が「子どもの遊び場」との回答が得られ、遊び場として子どもが利用する遊具を適切に管理していくことが重要だということが読み取れます。

また、同じような遊具がある身近な公園を今後、どうしていけばよいかという質問に対しては期待する役割に応じて、公園ごとに特徴づけた方がよいという意見が半数以上占めており、地域のニーズに合わせた特徴的な遊具の設置などにより、公園毎に個性を持たせていくことが重要だということが読み取れます。



(提供:大阪経済大学)



## 2. 本市の公園施設の現状と課題

また、子どもの遊び場としての役割を公園に求める声大きいことをふまえ、公園利用者への遊具に関するアンケート調査やワークショップを実施しました。

それによると、

「こどもが公園でよく利用する遊具」では

- 1位 ぶらんこ
- 2位 複合遊具
- 3位 すべり台

「設置してほしい遊具」では

- 1位 特徴的な遊具(コンクリート製の遊具)
- 2位 インクルーシブ遊具
- 3位 複合遊具

「こどもが好きな遊具」では

- 1位 たこのすべり台(動物などをモチーフにした特徴的な遊具)
- 2位 すべり台や登るところがある遊具(複合遊具)
- 3位 クライミングスライダー(コンクリート製の特徴的な遊具)

というアンケート結果となりました。

よく利用する遊具・好きな遊具・設置してほしい遊具には共通点と差が見られました。これは、それぞれの遊具の設置数によるものと考えられます。

また、「利用頻度」は、

- 1位 ぶらんこ
- 2位 複合遊具
- 3位 すべり台

の順で、直感的に遊べる定番の遊具が中心となっています。特にぶらんこは設置数が多く、年齢を問わず短時間でも遊びやすいため、日常の利用が多いと考えられます。

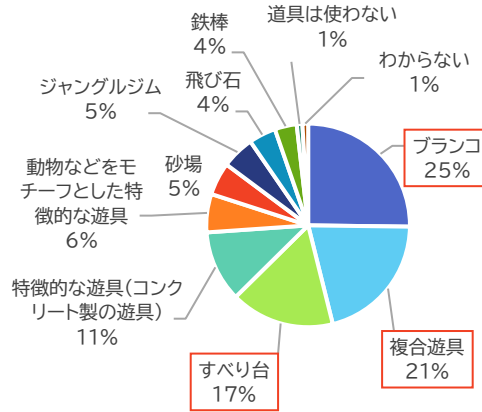
一方、設置してほしい遊具は特徴的な遊具(コンクリート製の遊具)とインクルーシブ遊具が上位にあり、みんなで遊ぶことができる遊具であることから、より公園の魅力や価値を高める要素への期待がうかがえます。

また、好きな遊具では、動物などをモチーフにした特徴的な遊具が多く、見た目の面白さや記憶・印象に強く残っていることが影響しているものと考えられます。

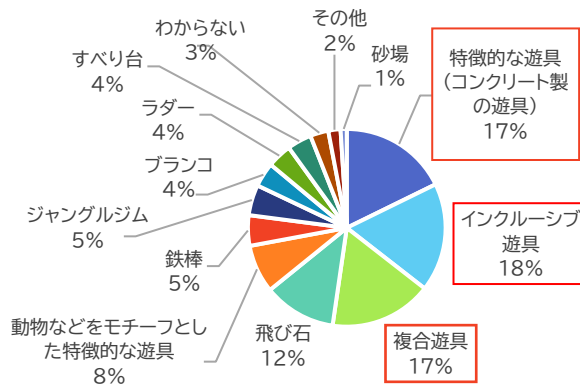
これらのことから、定番の遊具を一定量確保しつつ、コンクリート製・インクルーシブ・象徴的モチーフなどの特徴的な遊具を組み合わせることが、全体的に公園の魅力向上につながると考えられます。



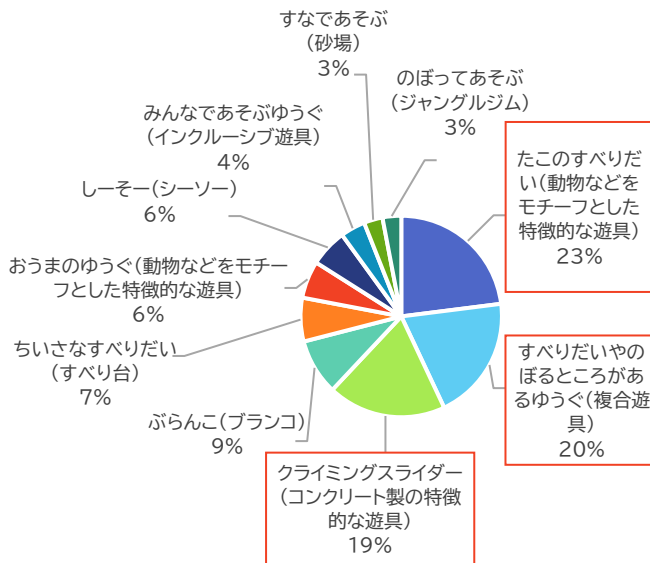
こどもが公園でよく利用する遊具



設置してほしい遊具



こどもが好きな遊具



### 2-2 公園施設の魅力向上に向けて

---

公園利用者へのアンケート調査やワークショップの結果、定番の遊具には根強い人気がある一方で魅力的・特徴的な遊具を求める声も多くあります。

そのため、公園施設の魅力を向上させるためには、公園を利用される方々の意識の変化や公園に求められる多様なニーズに柔軟に対応していくことが求められます。

一方で、こうした新たな遊具の設置にあたっては、安全・安心の確保を前提とした、十分な設置スペースの確保が必要となります。

そのため、公園全体としての遊具配置の見直しや、既存遊具の整理と合わせた個別具体的な検討および対策実施が合わせて必要となります。また、ベンチについては遊具・園路・日陰部等の利用実態や動線を踏まえ、周辺施設に配慮した配置とします。トイレについては公園利用者が安心して利用できるよう、誰もが利用しやすい環境整備を進め、利用促進につなげていきます。

これらを踏まえて、次項に示す今回とりまとめた「公園施設の魅力向上プラン」の基本方針のもと、今後の公園施設の魅力を高めていくべく、既存遊具(特徴的な遊具(コンクリート製遊具)や複合遊具等)を活用しつつ、これまで、設置の少なかった大型遊具やオリジナル遊具の導入を検討していくとともに、新たに開発が進むインクルーシブ遊具の導入などに取り組んでいきます。

また、ベンチやトイレなどの施設についても基本方針に沿って公園利用者の利便性の向上に努めていきます。



### 3. 公園施設の魅力向上プランと基本方針

公園施設の魅力向上プラン

## 遊び心を揺さぶる、 心ときめく公園をめざして

大阪市全域の都市公園を対象として、市民のみなさまがより心地よく  
公園を利用していただけのように、  
利用者アンケートや地域ニーズを踏まえて、魅力ある遊具の設置や  
特徴的な遊具の改修を行うことによる  
再整備(リノベーション)を実施することで、  
公園の遊具等、各施設の魅力を向上させるプラン



### 3. 公園施設の魅力向上プランと基本方針

#### 【遊具】基本方針1

遊具の更新時期にはこどもたちがよく利用する遊具や人気のあ  
る遊具の設置を進めていきます。

- (1) これまでに実施したアンケートおよび聞き取り調査の結果を踏まえ、公園の魅力向上と利用促進に取り組んでいきます。
- (2) 安全性と維持管理にも配慮し、こどもたちが楽しく使いやすい遊具を優先して選定します。

<例:2連ぶらんこからインクルーシブ遊具へ更新>



#### 【遊具】基本方針2

人気が高く特徴的な遊具については、計画的な補修を実施し、  
できる限り長期的に維持していきます。

- (1) 特徴的な遊具は、これまでに実施したアンケートや聞き取り調査の結果を踏まえ、適切な補修や点検を実施することで、良好な状態で維持・保存していきます。
- (2) 現状の遊具の状態や利用状況を把握したうえで、補修の必要性や優先順位を精査し、持続的に利用できるよう適切に維持管理を行っていきます。

<例:特徴的な遊具の補修>



**【遊具】基本方針3**

利用頻度の低い遊具については、利用者がより楽しめる遊具への更新やパーツの追加を行いながら、遊具の配置・種類の整理を進めていきます。

- (1) 利用者がより楽しめる遊具への更新をおこなえるよう、これまでに実施したアンケートや聞き取り調査の結果を踏まえ、遊具の配置・種類の整理に取り組んでいきます。
- (2) 現状の遊具の利用状況を把握するとともに、利用頻度が低い遊具については、利用が少ない要因を分析します。

<例：プレイタイヤからシーソー等への更新>

**【ベンチ】基本方針**

ベンチの材質を適切に選定するとともに、遊具との位置関係や日陰、日当たりへの配慮を踏まえたうえで、配置を行っていきます。

- (1) 公園利用者のニーズを踏まえ、遊具との位置関係や現地において風向きや日照時間さらに木陰の有無等、環境条件について現地の確認を行います。
- (2) 公園利用者の利用実態を踏まえ、耐久性や座り心地などの観点から最適な材質の選定を行います。

### 3. 公園施設の魅力向上プランと基本方針

#### 【トイレ】基本方針

トイレをより快適な空間とするため、快適性および機能性の向上を図り、利用者にとって使いやすく清潔で明るいトイレ環境を提供していきます。

- (1) 公園利用者が安心して快適にトイレを利用できるよう、美装化を行い、明るく清潔感のある空間とします。
- (2) 大便器の洋式化やバリアフリー化により機能向上を図り、使いやすい施設となるよう整備します。

<例:和式から洋式化への機能向上>





## 4. 方針の実施

### 4-1 魅力的な公園施設の充実

#### (1)各施設における魅力的な遊具の明確化

##### ● 更新時期を迎える遊具

遊具の更新にあたり、ブランコについては周辺施設の状況(利用圏内の配置等)を踏まえ、設置スペースの確保や既設遊具の整理ができる場合は、円盤型のインクルーシブ遊具など、利用者ニーズを踏まえた遊具を導入します。

また、同様にスペースが確保できる場合には、大型遊具やオリジナル遊具の設置を行います。

##### ● 特徴的な遊具

石山やクライミングスライダーなどのコンクリート製既設遊具については、すべり面や外周部のひび割れ等を適宜補修するとともに、手すり部分の塗装を行います。

これにより、既設遊具であっても新品同様の仕上がりを目指し、良好な状態で維持することで、長く利用いただけるようにします。

##### ● 整理を行う遊具

プレイタイヤや飛び石等の遊具については、市内に設置されていない遊具(シーソー等)への更新を含め、配置や種類の整理を進めます。

併せて、複合遊具については、デッキ部分の改修によりラダーやすべり台等の機能を付加し、遊びの幅が広がるよう、遊具の機能向上を進めていきます。

#### (2)ベンチの効果的な設置

##### ● 効果的な配置

公園利用者の利便性や快適性の向上を目指し、夏期の直射日光対策と冬期の日当たり需要の両立を図りながら、限られたスペースにおいてベンチを効果的に活用できるよう配置・仕様(座面木製/石製、背もたれ・肘掛けの有無等)を検討のうえ、進めていきます。

また、公園利用者の安全・安心を高めるため、遊具で遊ぶ子どもを見守ることができるよう、配置も検討します。

### (3) トイレ環境の改善

#### ● 快適性の向上

快適に使用いただけるよう、老朽化した部位の改修や塗装替え等を行うと共に、明るい空間となるよう照明設備の LED 化を進めます。

また、内装を更新する場合には、壁や床材には汚れが目立たず清掃のしやすい素材を選定します。

公園のトイレは防犯面や通風を考慮し内部が見通せるようになっているものがありますが、プライバシー対策として、防犯面等との兼ね合いにも配慮しながら、現地の状況に合わせて植栽や柵などを設置することにより、視線を制限することも検討します。



(対策前)



(対策後)

#### ● 機能性の向上

大便器については、利用者からのニーズが多い洋式便器に更新していきます。

また、バリアフリー化を推進することで、多様なニーズに対応した快適な空間の提供に努めていきます。

### (4) 長期的な公園施設への対応と将来的な負担軽減

#### ● 長期的な公園施設への対策実施

公園施設については、大阪市型の遊具(ぶらんこやすべり台)を中心に、継続的に更新を進めている一方で、それ以外の施設は修繕や補修により対応しております。さらに、多様化する市民ニーズへの対応などもあり、補修や更新の必要性が高まっており、今後、さらに維持管理費の増加が見込まれます。



こうした状況のもと、将来にわたり持続的かつ安全・安心な公園施設の管理を行うためには、適切な維持管理によって長寿命化を図るなど、ライフサイクルコストの縮減に向けた取り組みを行うことにより、計画的・効率的な維持管理に努めていく必要があります。

#### ● 公園施設の総量抑制

今後、公園施設の更新の際には、利用頻度の低い遊具の整理や配置の見直しにより、施設の数を抑え、将来的な負担が増加しないよう努めていきます。

また、対象とする公園の誘致圏内に他の公園が含まれる場合には、重複する施設や利用頻度の低い施設、安全領域の確保が困難な施設について、市民ニーズ等を踏まえた公園施設の配置の見直しや整理を行い、公園毎の特性を活かした整備により機能分担を図ることで、公園施設の総量抑制に努めていく必要があります。【別途可能性の検討を進めています】

### 4-2 取組内容

---

#### ● 対象施設

- ・健全度の低下や更新時期を迎える公園施設
- ・本市独自の特徴を持つ公園施設
- ・使用頻度の低い公園施設

#### ● 実施の優先度

- ・健全度の低下した施設(健全度 C 又は D)
- ・使用見込み期間を超えた施設(鋼製遊具(設置より 36 年)、コンクリート製遊具(設置より 48 年))

#### ● 実施方法

公園施設の魅力向上プランの方針に沿い、関係部局と調整のうえ、計画の実施に取り組んでいきます。

また実施にあたっては、アンケートや利用状況調査(人流データ、指標の確認)により効果を確認しながら進めていきます。

## 4. 方針の実施

### 4-3 魅力的な公園施設の導入に向けた効果検証

魅力的な公園施設の導入に向け、先行して令和7年度までの間に、試行的に遊具の改修を行い、効果検証しました。

#### ●基本方針2

クライミングスライダーにおいて、すべり面の研磨による平滑化や塗装のやり替えなどの、リニューアルを行いました。



(整備前)



(整備後)

クライミングスライダー・石山を改修した公園の人流データを活用し、利用者数を確認するとほとんどの公園で改修後に公園滞在者の増加傾向がみられました。

#### ★公園利用者数(15分以上滞在した人の割合)

| 公園名   | 2023年 | 2025年 | (%) |
|-------|-------|-------|-----|
| 三番    | 1481  | 1,767 | 19  |
| 大和田中央 | 1236  | 1,564 | 27  |
| 大淀北   | 695   | 568   | -18 |
| 海老江   | 997   | 1,128 | 13  |
| 全体    | 4,409 | 5,027 | 14  |

※2024年度は改修工事のため、2023年と2025年で比較

#### ●基本方針1, 3

地域のニーズなどに対応しながら、インクルーシブ遊具やこどもたちから人気のある複合遊具の設置を検討し、導入し、効果検証しました。



### ★インクルーシブ遊具実施事例



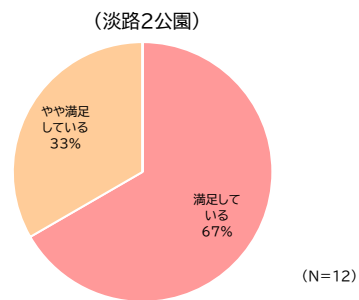
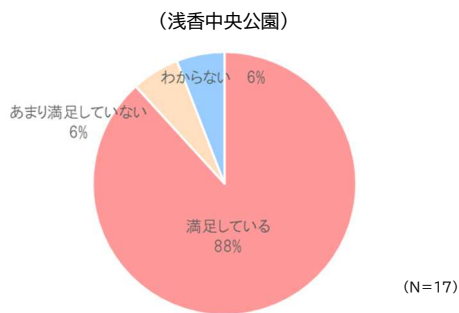
(淡路2公園)



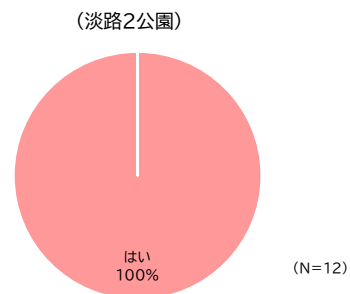
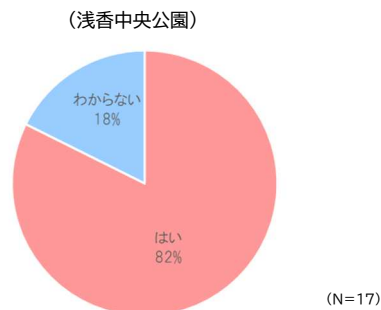
(浅香中央公園)

周辺地域の施設等を調査し、インクルーシブ遊具の設置を行った浅香中央公園での聞き取り調査を行ったところ、インクルーシブ遊具を設置したことについての満足度が高く、特徴のある遊具がある公園に訪れたいという意見を多くいただきました。

#### インクルーシブ遊具の導入に満足していますか？



#### インクルーシブ遊具のような特徴のある遊具があると公園に訪れたいと思いますか？



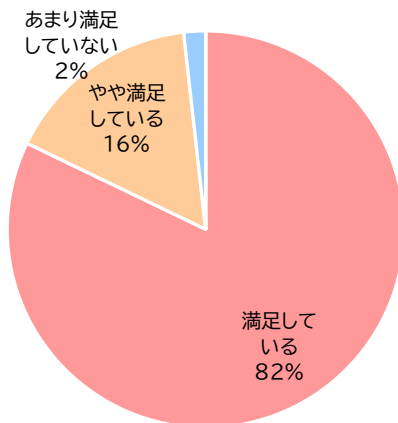
## 4. 方針の実施

### ★複合遊具実施事例



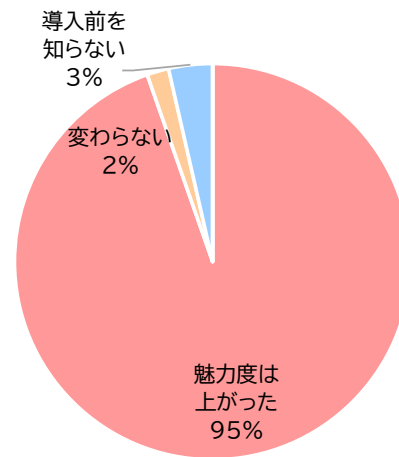
複合遊具を導入した公園においては、98%の人が導入に満足をしていると答えていただき、ほぼ同数の95%の人が複合遊具を導入したことで公園の魅力度が上がったと回答しています。

複合遊具の導入に満足していますか。



(N=56)

複合遊具導入の前と後で公園の魅力度は変化しましたか。



(N=56)



### 4-4 利用者の意見を反映した都市公園の魅力向上

●本プランの位置づけと目的

本プランは、「みどりの基本計画<2026>」における「みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト」の一環です。利用者ニーズを踏まえ、都市公園内の施設の魅力を高めることで、利用促進と満足度向上を図ります。

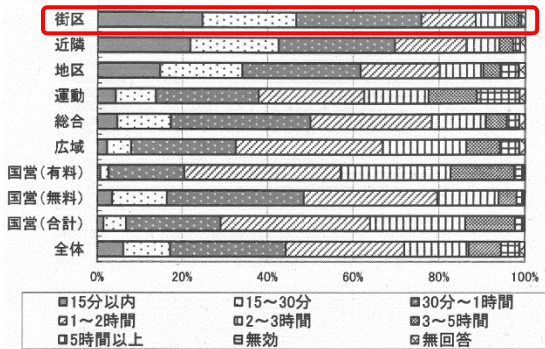
●LP(リーディングプロジェクト)指標

<目標値設定について>

① 滞在時間

令和3年度「都市公園利用実態調査」では、街区公園の滞在時間は「30分～1時間」が約3割と最も多く、活動内容は「子どもを遊ばせた」、「散歩をした」が多く利用理由は「遊具や子供の遊び場が充実している」が主となっています。これを踏まえ、魅力向上に向けたLP指数は、「30分～1時間」を評価区分として設定し、より多くの利用者の満足度を高めていきます。

(R3 都市公園利用実態調査 在園時間)



|        | 15分以内 | 15～30分 | 30分～1時間 | 1～2時間 | 2～3時間 | 3～5時間 | 5時間以上 | 無効  | 無回答 | 実数(人)  |
|--------|-------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|--------|
| 街区公園   | 24    | 23.8   | 28.2    | 13.4  | 9.8   | 3.2   | 0.8   | 0.1 | 0.4 | 935    |
| 近隣公園   | 21.8  | 26.3   | 27.2    | 18.4  | 7.7   | 3.1   | 1.6   | 0.1 | 1.1 | 2,700  |
| 地区公園   | 14.7  | 18.4   | 27.8    | 18.6  | 10.1  | 4.0   | 4.2   | 0.1 | 1.4 | 3,822  |
| 運動公園   | 4.3   | 8.4    | 24.2    | 24.7  | 14.0  | 11.2  | 9.9   | 0.1 | 1.2 | 8,325  |
| 総合公園   | 4.7   | 12.7   | 22.2    | 28.2  | 12.0  | 4.0   | 2.0   | 0.1 | 1.3 | 10,030 |
| 広域公園   | 2.3   | 5.8    | 24.2    | 24.2  | 10.0  | 7.0   | 4.4   | 0.1 | 1.2 | 7,247  |
| 国営(有料) | 0.1   | 1.8    | 17.3    | 18.3  | 20.8  | 14.8  | 2.1   | 0.0 | 0.3 | 4,848  |
| 国営(無料) | 2.0   | 2.8    | 20.2    | 22.0  | 14.2  | 6.2   | 1.6   | 0.1 | 0.7 | 1,828  |
| 国営(合計) | 1.8   | 4.6    | 37.5    | 40.3  | 35.0  | 21.0  | 3.7   | 0.1 | 1.0 | 6,676  |
| 全体     | 4.2   | 11.2   | 27.2    | 27.3  | 13.0  | 7.4   | 4.4   | 0.1 | 1.1 | 41,920 |

② 公園利用者数

前期の検証期間における目標値は、試行実施で得られた利用促進効果を踏まえて設定します。基準値は、遊具設置前の公園利用者数を1.0とし、目標値は1.1以上とします。あわせて、対象公園でアンケート等により公園利用者の意見を把握し、今後の魅力向上に活用していきます。さらに、前期に魅力的な遊具を試験導入し、後期の展開につなげていきます。

(R6 試行実施後の人流データ)

| 公園名       | 2021年        | 2022年        | 2023年        | 2024年        | 2025年        | (変動)       | (%)       |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|-----------|
| 韮         | 2357         | 1633         | 1455         | 1,192        | 1,669        | 214        | 15        |
| 浅香中央      | 767          | 592          | 509          | 332          | 642          | 133        | 26        |
| 三番        | 2308         | 1504         | 1349         | 1,159        | 1,590        | 241        | 18        |
| 大和田中央     | 1540         | 1090         | 1052         | 928          | 1,339        | 287        | 27        |
| 大淀北       | 882          | 636          | 606          | 394          | 469          | -137       | -23       |
| 海老江       | 1215         | 812          | 875          | 516          | 980          | 105        | 12        |
| 淡路2       | 569          | 339          | 462          | 445          | 333          | -129       | -28       |
| <b>合計</b> | <b>9,638</b> | <b>6,606</b> | <b>6,308</b> | <b>4,966</b> | <b>7,022</b> | <b>714</b> | <b>11</b> |

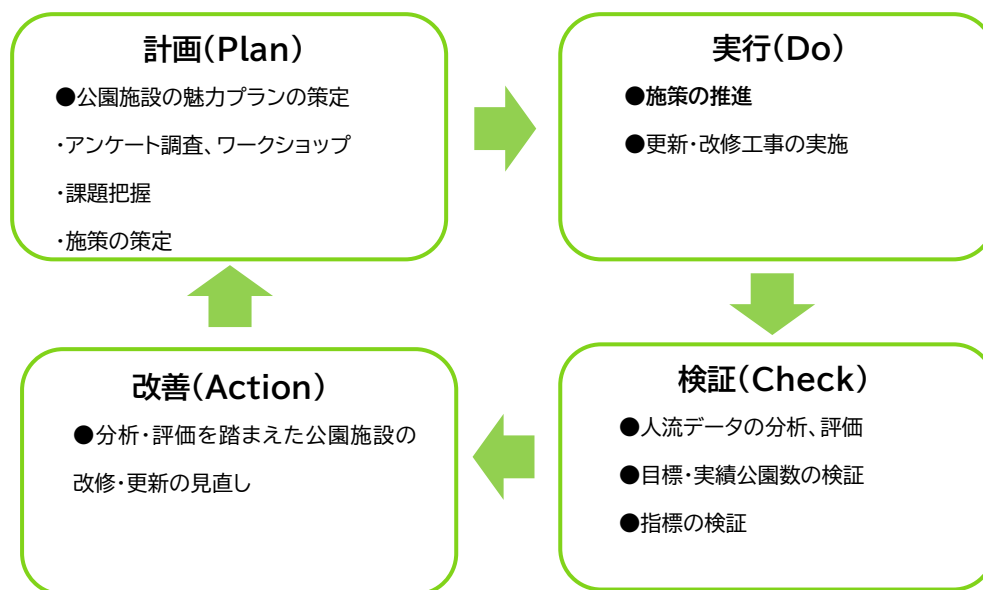
(参考 R6 試行実施後の人流データ)

| 公園名       | 2021年         | 2022年        | 2023年        | 2024年        | 2025年        | (変動)       | (%)       |
|-----------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|-----------|
| 韮         | 2980          | 2017         | 1809         | 1,512        | 2,068        | 259        | 14        |
| 浅香中央      | 913           | 717          | 577          | 403          | 776          | 199        | 34        |
| 三番        | 2587          | 1620         | 1481         | 1,264        | 1,767        | 286        | 19        |
| 大和田中央     | 1902          | 1334         | 1236         | 1,123        | 1,564        | 328        | 27        |
| 大淀北       | 1006          | 738          | 695          | 447          | 568          | -127       | -18       |
| 海老江       | 1399          | 923          | 997          | 622          | 1,128        | 131        | 13        |
| 淡路2       | 719           | 444          | 572          | 543          | 431          | -141       | -25       |
| <b>合計</b> | <b>11,506</b> | <b>7,793</b> | <b>7,367</b> | <b>5,914</b> | <b>8,302</b> | <b>935</b> | <b>13</b> |

### 4-5 プランの検証と見直し

#### ●プランの進捗管理

本プランがめざす魅力ある遊具の設置や特徴的な遊具の改修を行うことによる再整備(リノベーション)の実施に向け、計画(Plan)、実行(Do)、検証(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルに基づいたプランの進行管理を行います。



■PDCAサイクルによる進行管理

#### ●進捗状況の確認と計画の見直し

みどりの基本計画<2026>において、「LP 指数」を設定し、対象公園における公園利用者との意見交換を適宜に実施していきます。日常的な声やニーズを継続的に収集・分析することで、施策の妥当性を検証し、運用に反映していきます。さらに、前期には、滞在時間の伸長に資する魅力的な遊具を試験的に導入し、安全性・利用状況・利用者評価等の観点から効果検証を行います。そこで得られたデータおよび利用者意見を踏まえて、後期には導入内容の改善・拡充や配置の最適化を図り、対象公園全体の魅力向上と継続的な利用促進につなげていきます。